

H29年度ガイドラインに基づく「事業者向け放課後等デイサービス自己評価」及び「保護者向け放課後等デイサービス評価」の実施結果について

平成29年12月

放課後等デイサービス事業所 「ハート愛」

1 評価の実施に当たって

当事業所が平成27年2月1日に開所して2年半がたちました。開所1年半の昨年度、初めてのガイドライン評価を実施しました。結果はHP掲載のとおりです。その後、改善に努めて参りましたが、改善結果を検証し、新たな課題発見及び一層の向上のために、1年後の今年、第2回の評価を実施しました。

- 実施時期 両調査とも平成29年11月中旬
- 実施対象 事業所全職員，利用児童保護者様
- 調査項目 厚生労働省のホームページ「放課後等デイサービスガイドラインについて」参照

2 「事業者向け放課後等デイサービス自己評価」結果について

- (1)「環境体制整備」は、数値的には「後退」したかの印象ですが、実際はだいぶ改善もなされています。ただ、「空間」や「子ども用トイレ」のことも、子どもへの支援の充実とともに、その質をさらに上げようとしての現状への不満足の流れであると思われます。優先順位を付けて早急に解決する必要があります。
- (2)「業務改善」の伸びは、昨年の自己評価（反省）を受けて努力した結果だととらえたいと考えます。ただ、「はい」と答えても、その中でより質を高める要素は多く残されています。
- (3)「適切な支援の提供」では、全体的な改善は見られたものの、「支援開始前の打ち合わせ」「支援終了後の打ち合わせ」については、改善すべきことが多いです。また、「個別活動」と「集団活動」の組み合わせ等も要検討です。
- (4)「関係機関や保護者との連携」の中では保護者に対する「ペアレントトレーニング」のことがありますが、ST、OT、CP等からの指導を日常的に共有することで、課題解決の協力態勢はできていると思われます。ただ、「トレーニング」としてシステム的取組にはなっていません。今後の課題です。
- (5)「非常時等の対応」では諸マニュアルの整備と保護者との共有が、十分でないこと等危機管理に係る取組を充実させる必要があります。

3 「保護者向け放課後等デイサービス評価」結果について

- (1) 「環境・体制整備」については、6割強が肯定的評価をしています。全体的に昨年度結果より評価が上がっている中で、本分野のみが微妙に下がる数値がありました。実際は、環境・体制面は昨年度より随所で整備されているのですが、おそらく、保護者会等様々な行事においていただく機会が増える中で「より良い支援を受けるために、施設設備・体制面はもっとこうあってほしい。」という思いが増えた結果であろうと思われます。
- (2) 「適切な支援の提供」については、児童クラブ等、障害のない子どもとの交流について、機会の微増とともに数値も改善傾向にあります。まだまだ十分とは言えません。また、「放課後等デイサービス計画」の作成については、全員「はい」の高評価を得ています。職員の情報共有等の努力を評価していただいた結果と思われます。
- (3) 「保護者への説明等」については、昨年度とほぼ同じ評価でした。今年度発足した「保護者会」でしたが、「保護者同士の連携支援」という点では、まだまだ不十分と考えます。
- (4) 「非常時等の対応」については、「危機管理」という点での本項目は、昨年に続き評価が低かったです。「発達支援」は当然のことですが、保護者の思いは、やはり「我が子の安全」にあるということでしょう。不足分は早急に整備したいと考えます。
- (5) 「満足度」については、昨年度に続き、ほぼ全員から肯定的な評価をいただきました。

4 今後の課題（改善目標）

- よりスピーディな支援反省の機会の確保
- 障害のない子どもとの交流機会の一層の充実（量的・質的拡大）
- 発足した保護者会の充実・発展（保護者同士の連携）
- 諸「緊急時対応マニュアル」の保護者との共有の在り方検討
- 児童発達支援事業等への事業拡大、新施設（建物）等将来を見据えた構想策定

※ 以上の結果と今後の目標を得ることができました。今回御協力くださった保護者の皆様、御協力ありがとうございました。